

# 袋井市

## 地域福祉に関する市民意識調査

### 【調査結果報告書 概要版】

#### I 調査概要

##### 1. 調査の目的

「第4次袋井市地域福祉推進計画」策定の基礎資料とするため、市内在住の15歳以上の一般市民3,000人を対象に地域福祉に関する市民意識調査を実施しました。

地域福祉に対する意識や地域活動への参加意向、支援を必要とする人に対する施策等、市民視点から本市の地域福祉の状況や施策のニーズを把握することを目的としました。

##### 2. 調査方法及び回収結果

| 区分             | 市民                             |
|----------------|--------------------------------|
| 調査地域           | 袋井市内全域                         |
| 調査対象           | 市内在住の15歳以上の一般市民                |
| 抽出方法           | 無作為抽出                          |
| 調査方法           | 郵送配布・郵送回収                      |
| 調査期間           | 2020（令和2）年1月7日～2020（令和2）年1月21日 |
| 配布数（A）         | 3,000件                         |
| 回収件数（B）        | 1,129件                         |
| 無効回答件数（C）      | 2件                             |
| 有効回答件数（B-C）    | 1,127件                         |
| 有効回答率（（B-C）/A） | 37.6%                          |

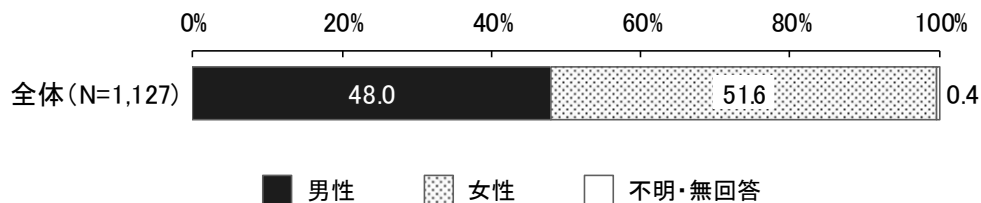
##### 3. 報告書の見方

- 回答結果の割合「%」は、小数点以下第2位で四捨五入したものであるため、単数回答（複数の選択肢から1つの選択肢を選ぶ方式）であっても合計値が100.0%にならない場合があります。
- クロス集計結果では、性別等の不明・無回答者が含まれていないため、クロス集計結果の回答者総数の合計と全体の回答者総数は合致しません。
- 図表中の「N（number of case）」は、集計対象者総数（あるいは回答者限定設問の限定条件に該当する人）を表しています。
- 表中の網掛けは、「不明・無回答」を除き、最も割合の高い項目と二番目に割合の高い項目で表しています。

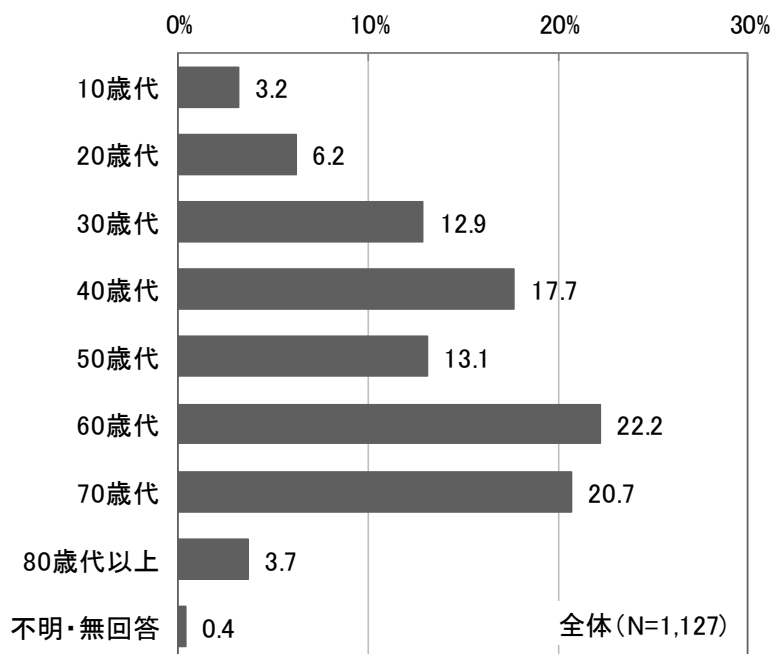
## II 調査結果

### 1. 回答者について

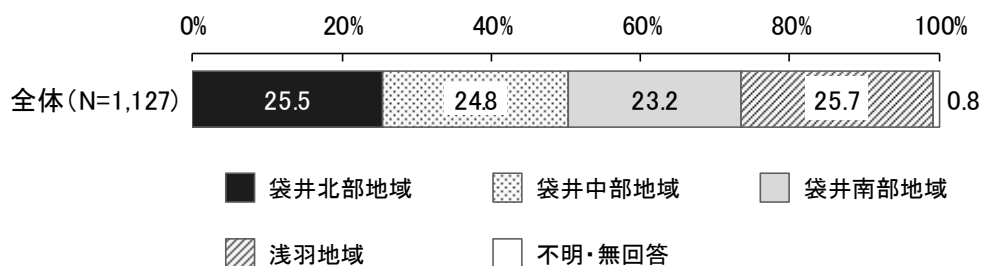
#### (1) 回答者の性別



#### (2) 回答者の年代



#### (3) 回答者の居住地区

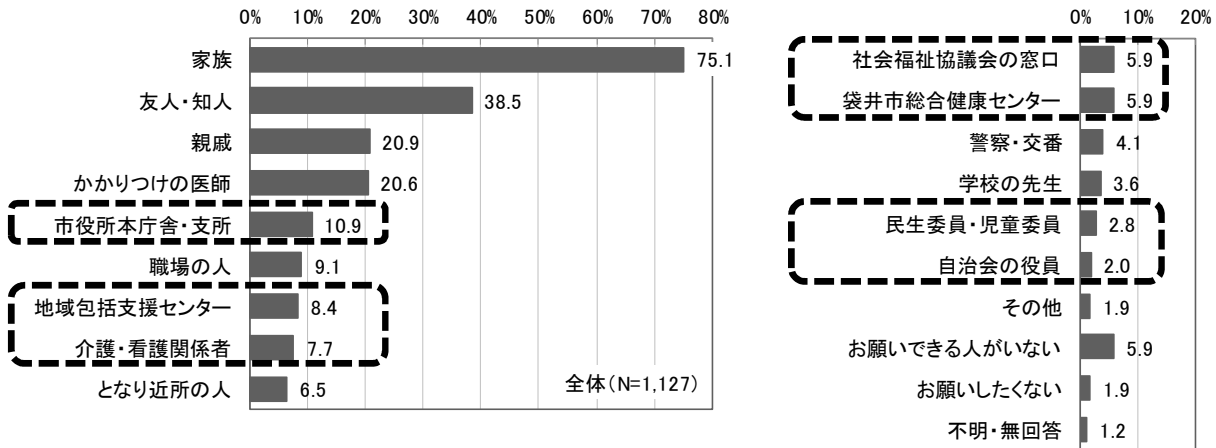


※袋井北部地域：今井、三川、上山梨、下山梨、宇刈、袋井東二（村松）  
袋井中部地域：袋井、川井、袋井西、方丈、袋井北、袋井北四町、袋井東一  
袋井南部地域：駅前、高尾、高南、豊沢、愛野、田原  
浅羽地域：笠原、浅羽北、浅羽西、浅羽東、浅羽南

## 2. 日常生活について

### (4) 悩みや不安の相談、支援先（複数回答）

悩みや不安の相談、支援先について、「市役所本庁舎・支所」「社会福祉協議会の窓口」「民生委員・児童委員」等の専門機関や専門職、地域の担い手がいずれも10.0%前後となっています。また、「お願いできる人がいない」が5.9%、「お願いしたくない」が1.9%となっています。

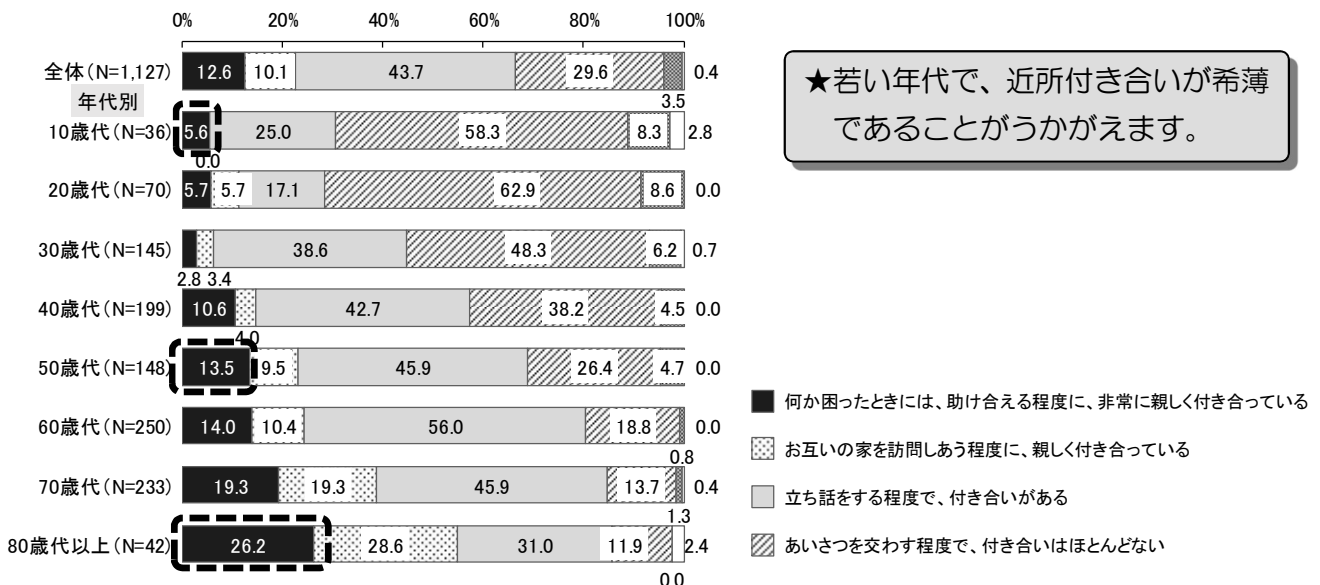


- ★悩みや不安を相談することができるよう、専門機関や専門職、地域の担い手となっている人の周知を図るとともに、専門機関の相談窓口の機能強化を進める必要があります。
- ★悩みや不安を抱えた場合は、相談することが重要であるという機運づくりが重要です。

## 3. 地域とのかかわりについて

### (5) 近所付き合いの程度（単数回答）

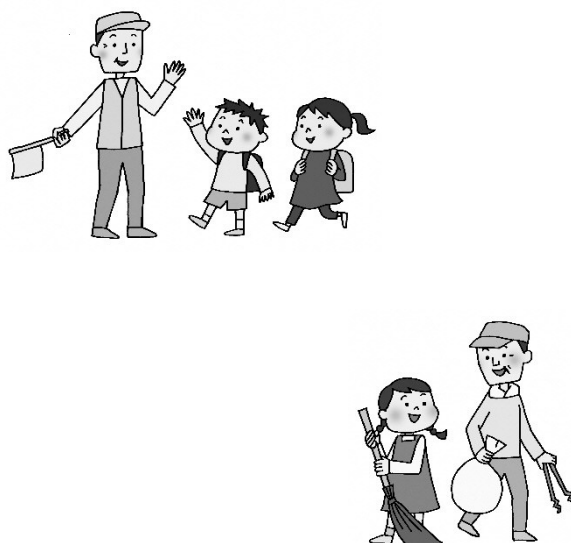
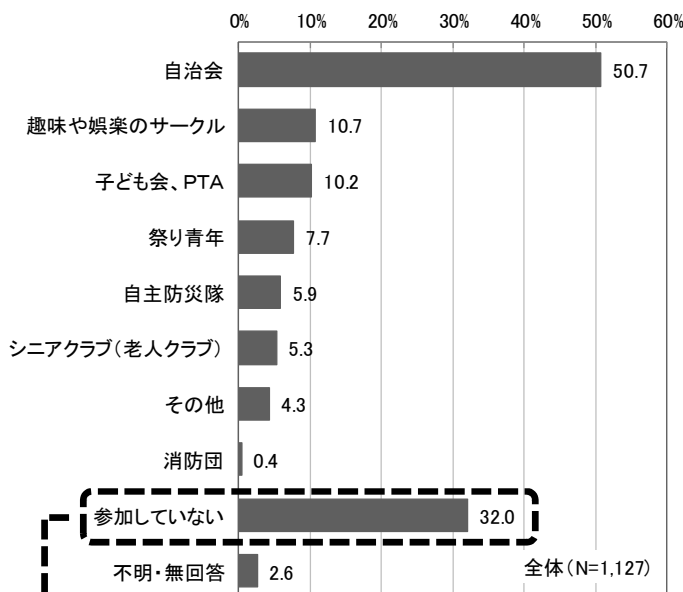
近所付き合いの程度について、全体では「立ち話をする程度で、付き合いがある」が43.7%と最も高くなっています。年代別では、概ね年代が上がるにつれて「何か困ったときには、助け合える程度に、非常に親しく付き合っている」が高くなっています。



- ★若い年代で、近所付き合いが希薄であることがうかがえます。

## (6) 地域活動への参加状況（複数回答）

地域活動への参加状況について、「自治会」が50.7%と最も高くなっています。一方で、「参加していない」が32.0%となっています。



## (7) 地域活動に参加していない主な理由（複数回答）

地域活動に参加していない主な理由について、20歳代以下、70歳代以上では「自分の趣味や余暇活動を優先したいから」が、30歳代、40歳代、60歳代で「仕事や家事・介護・育児等他にやることあって忙しいから」がそれぞれ最も高くなっています。

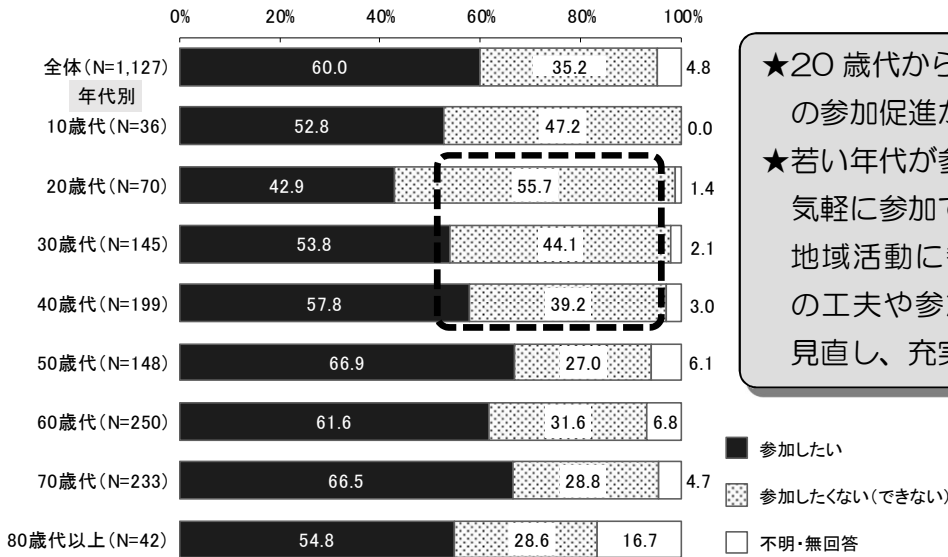
|            |              | 仕事や家事・<br>介護・育児等、<br>他にやること<br>あって忙しい<br>から | 自分の趣味や<br>余暇活動を<br>優先したいから | 行事や活動の<br>内容に興味や<br>関心がなく、<br>参加したいと<br>思わないから | 役員等になっ<br>ていないから | 付き合いが<br>わずらわしい<br>から |
|------------|--------------|---|----------------------------|--|------------------|-----------------------|
| 全体 (N=361) |              | 32.4  | 25.8                       | 22.7   | 17.5             | 15.5                  |
| 【年代別】      | 10歳代 (N=24)  | 12.5  | 20.8                       | 16.7   | 16.7             | 8.3                   |
|            | 20歳代 (N=52)  | 30.8  | 36.5                       | 30.8   | 9.6              | 15.4                  |
|            | 30歳代 (N=56)  | 44.6  | 28.6                       | 25.0   | 17.9             | 19.6                  |
|            | 40歳代 (N=63)  | 47.6  | 20.6                       | 25.4   | 19.0             | 19.0                  |
|            | 50歳代 (N=38)  | 26.3  | 15.8                       | 23.7   | 34.2             | 7.9                   |
|            | 60歳代 (N=66)  | 39.4  | 25.8                       | 19.7   | 25.8             | 15.2                  |
|            | 70歳代 (N=53)  | 11.3  | 28.3                       | 17.0   | 3.8              | 17.0                  |
|            | 80歳代以上 (N=8) | 0.0   | 25.0                       | 12.5   | 0.0              | 12.5                  |

※回答全体の上位5位までを抜粋

- ★価値観の変容等により、地域活動よりも自分の趣味や余暇活動を優先したいと考える人がみられます。
- ★地域活動の重要性について啓発を行う必要があります。

## (8) 今後の地域活動の参加意向（単数回答）

今後の地域活動の参加意向について、全体では「参加したい」が60.0%、「参加したくない（できない）」が35.2%となっています。年代別では、20歳代から40歳代で「参加したくない（できない）」が他の年代と比べて高くなっています。



★20歳代から40歳代の地域活動への参加促進が課題です。

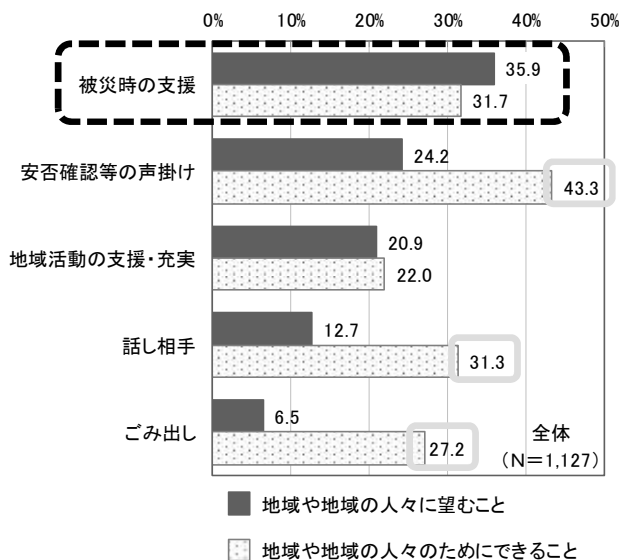
★若い年代が参加したいと思ったり、気軽に参加できる活動にするため、地域活動に参加しやすい活動時間の工夫や参加しやすい活動内容の見直し、充実が必要です。

## 4. 地域の助け合いについて

### (9) 地域や地域の人々に望むこととできること（複数回答）

地域や地域の人々に望むことについて、「被災時の支援」が35.9%、地域や地域の人々のためにできることについて、「安否確認等の声掛け」が43.3%とそれぞれ最も高くなっています。

また、「安否確認等の声掛け」「話し相手」「ごみ出し」は地域や地域の人々のためにできることが望むことを大きく上回っています。



★安否確認等の声掛けなど、日常でできることを被災時の支援につなげていく必要があります。

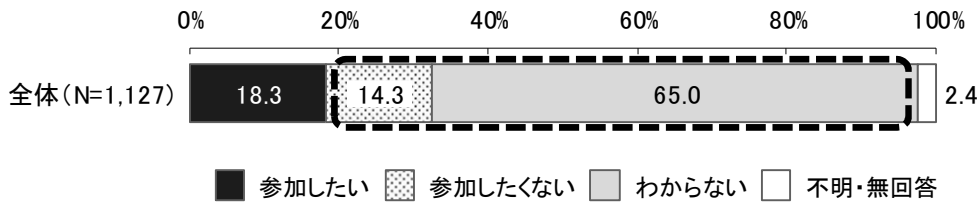
★地域や地域の人々のためにできることが望むことをおおむね上回っており、地域での助け合いの供給が需要を上回っている現状がうかがえます。

※それぞれ回答の上位5位までを抜粋



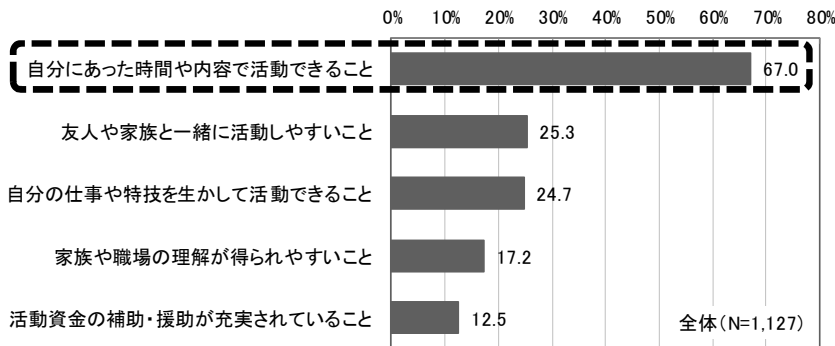
### (10) 社会福祉にかかわるボランティア活動への参加意向（単数回答）

社会福祉にかかわるボランティア活動への参加意向について、「参加したい」が18.3%、「参加したくない」が14.3%、「わからない」が65.0%となっています。



### (11) 社会福祉にかかわるボランティア活動に参加できる条件（複数回答）

社会福祉にかかわるボランティア活動に参加できる条件について、「自分にあった時間や内容で活動できること」が67.0%と最も高くなっています。



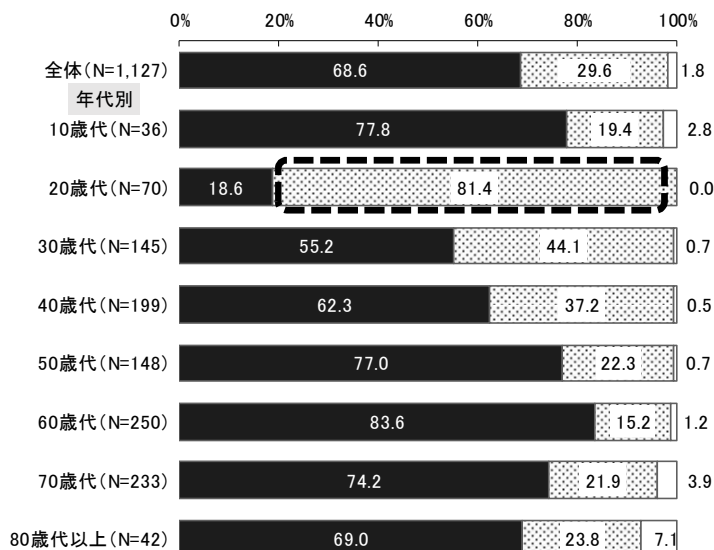
★市民がボランティア活動に参加しやすい時間帯や活動内容を把握し、活動内容の見直しや充実を進める必要があります。

※回答の上位5位までを抜粋

## 5. 災害時の対応について

### (12) 地域の防災訓練への参加の有無（単数回答）

地域の防災訓練への参加の有無について、全体では「はい」が68.6%、「いいえ」が29.6%となっています。年代別では20歳代で「いいえ」が他の年代と比べて高くなっています。



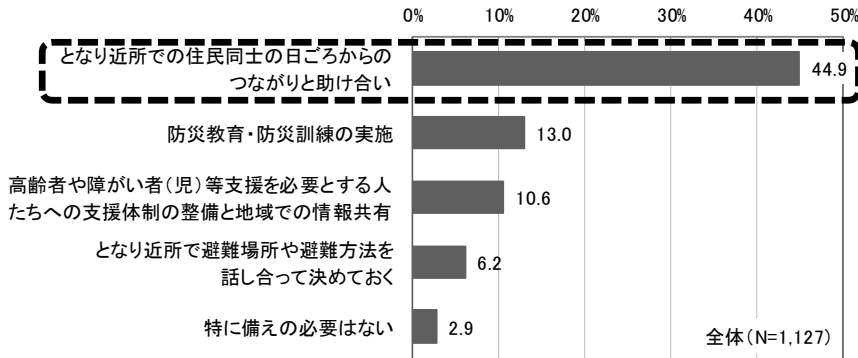
★災害時に近所や地域で助け合い、迅速かつ適切に避難することができるよう、特に若い年代に対し、防災訓練への参加を促す必要があります。

■ はい  
 ■ いいえ  
 □ 不明・無回答



### (13) 災害に対して地域で最も必要だと思う備え（単数回答）

災害に対して地域で最も必要だと思う備えについて、「となり近所での住民同士の日ごろからのつながりと助け合い」が44.9%と最も高くなっています。

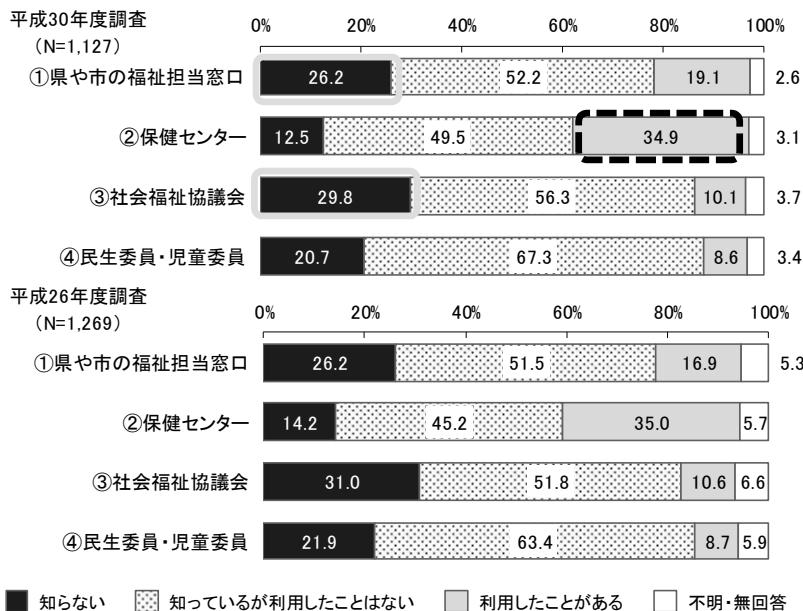


★日ごろからのとなり近所や地域での助け合いにより、災害時でも助け合うことができる関係づくりや体制づくりを進める必要があります。

## 6. 福祉サービス、制度について

### (14) 福祉サービスの利用状況、認知度（単数回答）

福祉サービスの利用状況、認知度について、①県や市の福祉担当窓口、③社会福祉協議会で「知らない」がいずれも20%代後半となっています。一方、②保健センターで「利用したことがある」が34.9%となっています。また、平成26年度に実施した調査と比較すると、いずれの福祉サービスも概ね横ばいとなっています。

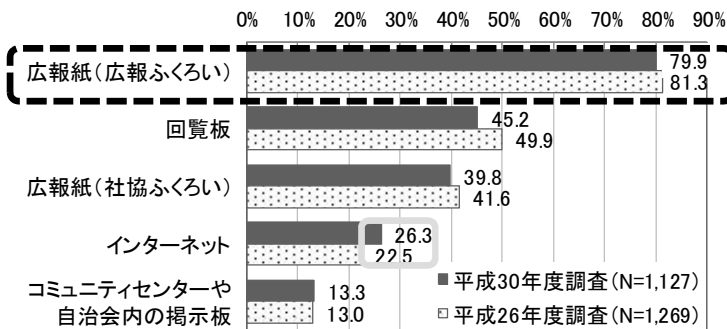


★各種福祉サービスや支援を必要とする市民のニーズを把握するとともに、多様なニーズに対する確かな利用促進を図る必要があります。

★複合的で複雑な課題等の解決のため、関係機関が協働して包括的な支援体制を整備していくことが重要です。

## (15) 社会福祉に関する情報の入手手段（複数回答）

社会福祉に関する情報の入手手段について、「広報紙（広報ふくろい）」が79.9%と最も高くなっています。また、平成26年度に実施した調査と比較すると、「インターネット」が3.8ポイント高くなっています。

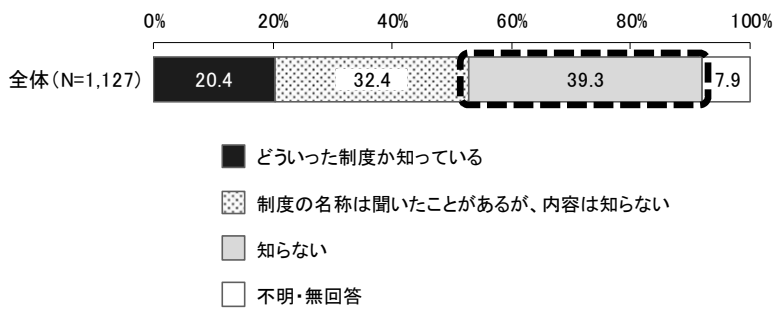


★広報紙（広報ふくろい）やインターネット等、情報の受け手が利用することが多い媒体を意識した情報発信を行う必要があります。

※回答の上位5位までを抜粋

## (16) 成年後見制度の認知度（単数回答）

成年後見制度の認知度について、「どういった制度か知っている」が20.4%、「制度の名称は聞いたことがあるが、内容は知らない」が32.4%、「知らない」が39.3%となっています。

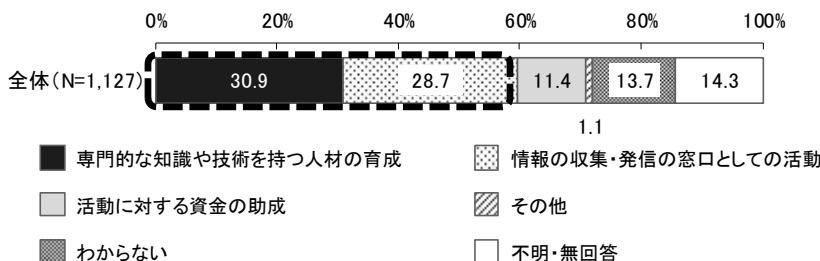


★成年後見制度の内容について、市民へ周知を図り、制度の利用促進へつなげる必要があります。

## 7. 今後の地域福祉について

### (17) 地域福祉活動に対する行政の支援に望むこと（単数回答）

地域福祉活動に対する行政の支援に望むことについて、「専門的な知識や技術を持つ人材の育成」が30.9%と最も高く、次いで「情報の収集・発信の窓口としての活動」が28.7%となっています。



★地域福祉を担う人材の確保、育成や地域福祉活動に関する情報発信が求められています。

### 袋井市地域福祉に関する市民意識調査 【調査結果報告書 概要版】

発行：袋井市  
編集：袋井市 市民生活部 しあわせ推進課  
住所：〒437-8666 静岡県袋井市新屋一丁目1番地の1  
電話 0538-44-3121  
発行年月：令和2年3月